

# 良改の路道

載轉禁



號八第一卷第

仁義全一社編注社

(アスファルトサスペンション)

混合式道路鋪裝用並ニ電車軌

道絶縁ニ最モ適當ス

アスカル

東京市電氣局御用

(アスファルトエマルジョン)

注入式道路鋪裝用並ニ防水耐

酸 絶縁

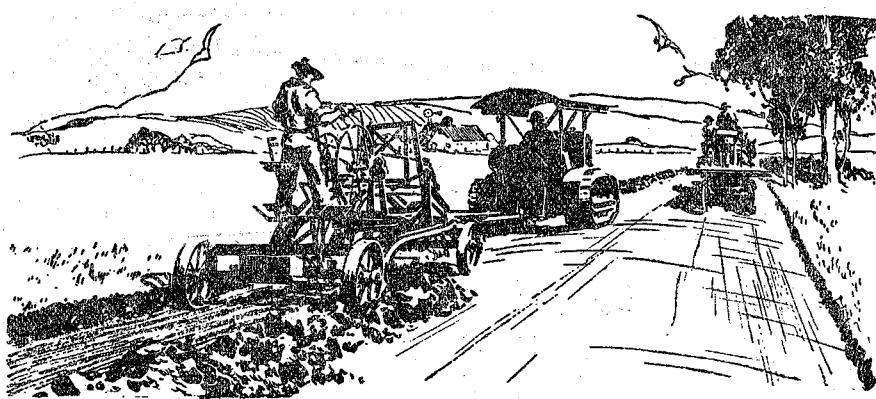
鐵道省電氣局御用

アスカル  
エキス

東京市下谷區上野櫻木町二二

アドルフ・メタル株式會社

電話 下谷〇〇五五



CATERPILLAR

良い道路を造るには、能率のよい機械を撰はなければなりませぬ。三井のキャタピラー・トラクターとラッセル道路機械は良い道路を

速く

良く

安く

く

造る機械であります。昭和日本の交通運輸の爲め  
一日も早く御試用の程御奨め申上ます。

(型錄 拜呈)

東京、日本橋、本町

日本滿洲  
總代理店

三井物産株式會社機械部

# 道路の改良 第十一卷 第八號 目次 昭和四年八月一日發行

口 繪

宮城縣丸森橋

論 説

復興街路名稱の懸賞募集に際して……菊 池 慎(三)(二)

研 究

路床の性狀と鋪裝(一)…………高 田 昭(七)

アスファルト煉瓦鋪裝に就て(二)…………三 木 葵(三)(八)

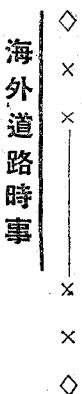
挿話 産業道路計畫全般…………(三)

時



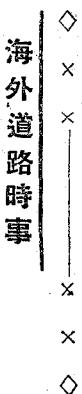
路 政 僧(四)

評



物 部 長 穂(三)

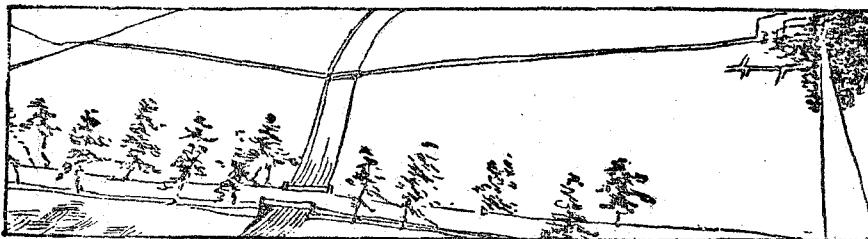
海外道路時事



政 僧(四)

支那に於ける道路改良の近況…………物 部 長 穂(三)  
英國ザルツブルグ郊外の登山自動車道…………經濟的路面(米國)…………佛國々道改良…………露  
西亞に於ける國道改良計畫…………チバラタル海峡隧道の計畫…………杭頭保護環除却法：  
滌青材透入法の改良…………米國に於ける漸進的道路改良の一例

資 料





# 都市交通問題(十三) 道路運輸經濟(十五)

官廳用自動車の制限

平山泰治(元) 山下定二(元) (委員)

## 漫録

### 動いた路政關係の長官

紹介と批判

記者(毛)

佐藤利恭氏著

### 軌道無軌條式電車を讀む

田中好(克)

挿話 東大寺の坊主と奈良市内國道問題

## 地方通信

東海方面

近畿方面 中國方面 九州方面

(一) (二) (三)

## 法令

令

質疑應答

質疑應答

(一) (二)

鐵筋混擬土下桁の經濟的寸法

質疑應答

(一) (二)

## 彙報

岩澤幹事の洋行  
邊兵庫縣土木部長歸朝  
任辭 令  
令 本會役員の送別會  
清水幹事の就任

(一) (二) (三)

# 道路法施行

## 懸賞論文募集中

大正九年道路法施行せられて茲に十歳、此間我國古來の路政は著しく變革され、我國路政史上に燦然として精彩を放ち、國道の改良を始めとし産業上必要なる府縣道の改良等年と共に歩一步を進め、道路法施行當時に比すれば、其の質に於て其の延長に於て著しく進展の蹟を認めることを得欣快に堪へざるものあり、然りと雖も地方幹線道路にして尙未だ自動車交通に適せざるもの甚少しとせず、今や産業の振興文化の向上を急務とするとき一に道路交通の完全を望むや切なるものあり。

本會は道路法の制定と同時に創立し、爾來我國路政の爲に世に盡す所尠からざるを自ら誇りとするもの、茲に道路法施行十週年を迎へるに當り之を記念するが爲、道路法施行後今日に至る迄に體驗したる事業の批評と將來に於ける路政百般に亘り左記要項を以て廣く有志の論文を募集せむとす、希くは奮つて應募せられむことを。

社團  
法人

道路

# 十週年記念

## 懸賞論文募集要項

### 一論題隨意

二賞金一等 金五百圓 一名

二等 金參百圓 一名

三等 金貳百圓 一名

選外佳作 金五拾圓 三名

三審查 道路改良會理事會に於て審査決定す

四頁數制限 一頁二十六字詰十七行のもの二十頁以内

五應募締切期日 十月三十一日

六發表 本誌昭和五年一月號

七論文送先 内務省内道路改良會編輯部

▲應募したる論文は如何なる事由あるも返付せず

改良會

# 見!! 此事實と偉力

米國

昨年中に完成したるビチュマルス鋪裝道路二千六百萬平方餘碼

本年増設中のビチュマルス工場

十二箇所

インターナショナルエマージョン

日本

昨年中に使用したるビチュマルス參千五百餘噸

横濱工場の製造能力

日產

壹百噸

内務省裏濠端通○日比谷數寄屋橋通○浦和町○板橋街道（内務省試驗道路）等の現狀は此極暑に少しも溶融の形跡なし

施工、修繕簡易 工費低廉無比

日本液体アスファルト工業株式會社

贈  
工事説明書  
呈

關東總代理店 日本ビチュマルス鋪裝工業株式會社

東京丸ノ内仲通三菱五號館電話丸ノ内(23)四八二九番

最新ノ學理ニ立脚シ  
實驗上ノ効果ノ傑出セル  
理想的アスファルト乳剤

説  
明書

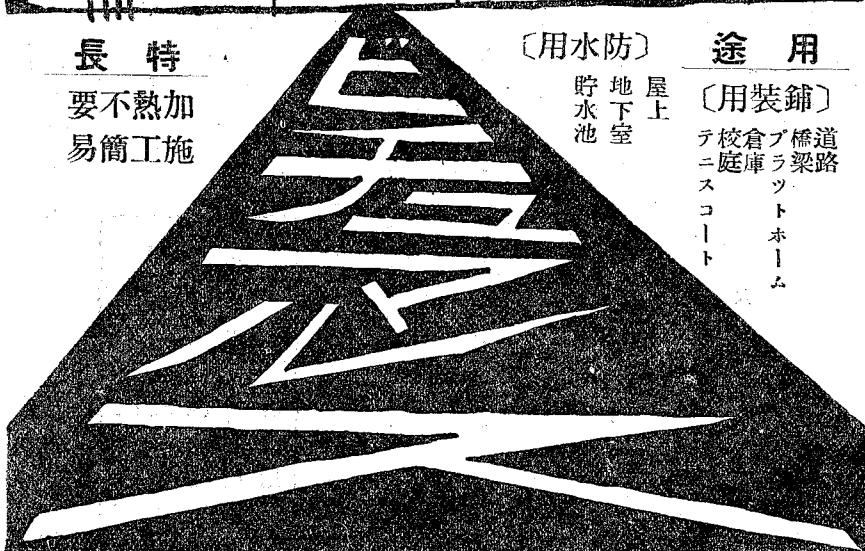
長特  
要不熟加  
易簡工施

〔用途〕  
〔防水〕

屋上  
地下室  
貯水池

〔用途〕

〔用裝鋪〕  
道橋梁路  
倉庫ラツ  
校庭トホーム  
テニスコート



日本液体アスファルト工業株式会社

五一四二(2)電話 六四 町下山 區中 濱横

社会式株業工裝鋪スルマユチビ本日

九二八四(23)電話 館號五 内ノ丸 京東

社会式株業工スルマユチビ

五一三四 町新 話電 八一 一 區南堀賣立 區西 阪大



# アスファルトの御用なら

舶來品でも國產品でも

## 浅野物産へ

途	鋪	裝
塗	防	用
料	絕	水
用	縁	用
微	クッショニ	用

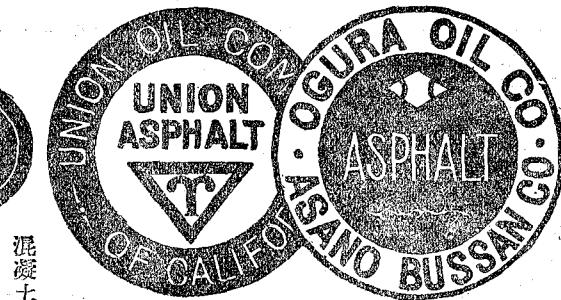
品質均等  
規格正確  
純瀝青分  
延勒度最大  
膠着力强大

米國ユニオンオイル會社製アスファルト日本總代理店  
小倉石油會社精製バキウム蒸溜高級國產アスファルト一手賣捌元

日本一のアス  
ファルト問屋

浅野物産株式會社

アスファルト部



混凝土の理想的目地材料

專賣特許

カレー エラスタイル

エツキスパンション

ジョイント

東京 丸ノ内 海上ビル六階

電話丸ノ内自二二五八八一至二五八八番

大阪 東區瓦町山口ビル八階

電話本局(自五九一一五八番至五九一八五番)

橋森丸のたじ功竣

昭和三年二月  
左盤砂礫基礎式及テ  
右盤石基礎式  
アリヤマモト  
アリヤマモト

長型曲弦弓  
工具館矢

四年五月  
二百七十噸  
脚橋基盤  
鐵鏈拾五呎  
脚橋水射式  
岸橋失恢復  
時六六型  
丸森町入會  
村

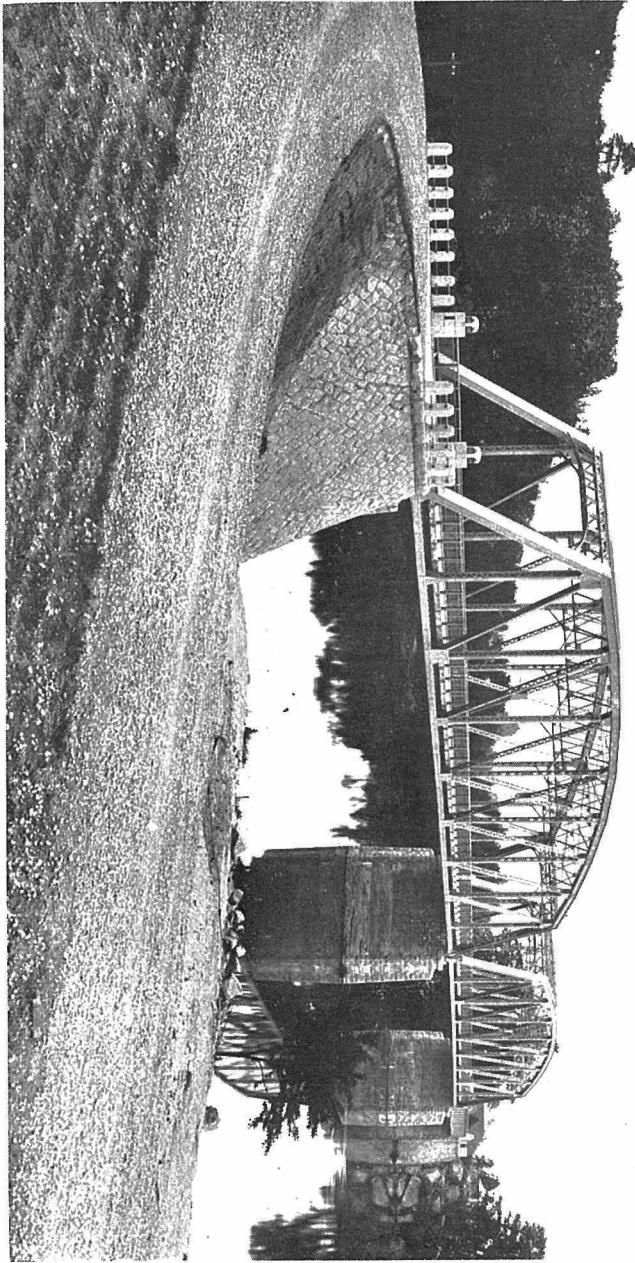
總工會子、基連路有效二連路

費面シ幅員二利混ナ  
拾混個ノリ拾六擬ノ

萬圓、  
土床版  
非筒チ  
泥土、  
四呎道  
四呎角  
八呎口

右側混流沈設アスラ付道

ル  
トア  
ロ  
工  
起  
砂  
力  
重  
土  
基  
礎  
鋼  
銹  
河  
川  
橋  
名

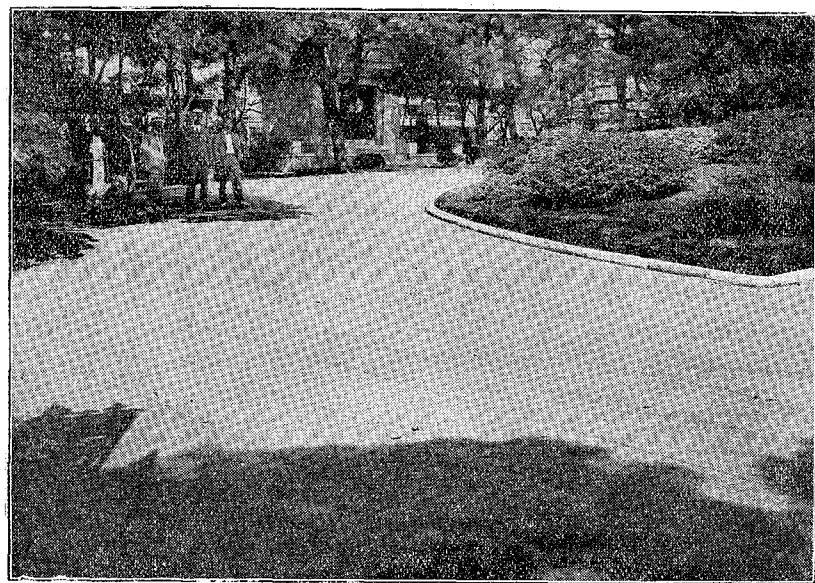


# 日本本土建築株式會社

東京市芝区兼房町五番地

(57) 電話銀座座 (○二四)

大正八年創業資本金六百八拾五萬圓  
鋪裝專門  
專特エタナール  
アスファルト  
東京瓦斯  
特製タル  
道路高級鋪裝  
專特屋上運動場兼防水工事  
專特エターナール  
校庭鋪裝  
ターケリーは校庭鋪裝の記録保持者  
既に東京横濱にて百六十餘校施工す



道鋪附形トツチテリソ前門正廳縣庫兵

# 暑中御伺申上候

昭和四年盛夏

東京市京橋區疊町八片倉ビル四階

## 日本ソリデナツト株式會社

取締役會長 今 井  
常務取締役 櫻 泽 鶴 五  
監查役 山 岸 慶 之  
同 取締役 高 橋 錬  
片 倉 武 逸 雄  
吉 助 雄

### 工 場

東京市京橋區月島東仲通七、八丁目  
横濱市山下町一九八片倉會社内  
大阪市東區北濱二ノ九〇片倉ビル内

### 佐賀縣鳥栖町

片倉製絲紡績會社

### 京城西大門外

同

### 釜山高嶋町

片倉米穀肥料會社

### 上海廣東路九號

三菱商事會社支店

### 青島奉天路

青島島倉洋商絲行

### 天津日本租界

大連山手町八

### 所 裳 版

路面鋪裝用

セメント製壓搾敷瓦

室内床張用

其他セメント加工品各種



## セメント工業株式會社

東京市深川區東扇橋町三十二番地

電話本所(73)二四〇六番

◎細末度二百番篩通過八〇%ヨリ以上  
◎比重二、七八以上

アスファルト、フィラーとしての  
**寒水石粉**は、鋪道用、防水床  
用、フロック原料其他の用途に、我  
が大東京に於ける需用の九九%は  
實に弊社のエイヤセバレー・ション  
の製品なるを御記憶ありたし、我處  
は勿論、弊社の摸範的工場設備と  
大量生産とは、科學的に優秀と  
り、廉價となること、既に學者技術  
者間に定評あり矣。

弊社は營業の便宜上今般肩書の處に移轉す  
御承知を乞ふ

東京市外南千住町千束八八九番地(市電終點)

旭礦木資料合資會社

電話 滝草四六二五番

工場處在地 常磐線  
大甕驛前 下孫驛前  
助川驛前

内務技師  
鐵道技師

佐藤利恭氏著

定價三圓八十錢（送料二十錢）  
菊判九ボイント新活字横組脊皮  
クーロス函入挿入圖版約二百個

# 軌道・無軌條式電車

1 本書は著者が内務省土木局並鐵道省監督局に在職し多年軌道及道路に於ける指導監督の實務を鞅掌し、曩に普く歐米を遍歴し軌道及道路に就て調査研究したる材料を基礎として、著述せるものにして、斯界に其類書なく又斯道の規範たるを確信す。

2 本書は軌道の設計、工法につき學理及實際に亘り懇切明快に説きたるものにして、特に路面電車と道路との關係に就て詳記せるものなり。

3 本書は軌道工學及道路工學上並に都市計畫上無二の良書たると共に、軌道經營者は一讀して容易に合理的軌道經營の眞髓を會得し得べし。

4 本書は更に近時歐米各國にて經濟的陸上交通機關として勃興しつゝある無軌條式電車について其計畫設計等を詳細に説述せり。

——(東京小石川區誠訪町)常磐書房發行(振替東京七七八)

昭和四年

道路の改良

八月一日

卷一第十

號八第